型式 SMZ-6501－2R －8A×2回リモコンユニット－取扱説明書

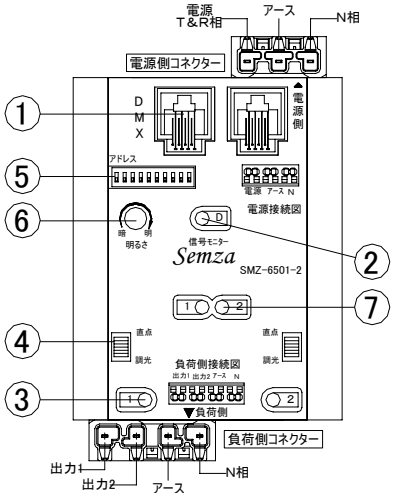
■特　長■

- 当装置は、DMX512 による外部信号で、1 回路 AC0～100v 出力、回路あたり最大 8A、2 回路の ON/OFF 制御を行うことができます。
- 外部動作信号にかかわらず負荷を点灯することが出来ます。
- 外部動作信号のない場合、本体ボリュームにて、ON/OFF を調整できます。
- ＬＡＮケーブル挿すだけで操作器には電源が供給されます。
  電源は不要です。(ただし、操作器の種類により必要な場合もございます。)
- 電源、負荷出力がコネクター使用のため、まし締めのメンテナンスが不要です。

■定格および主な仕様■

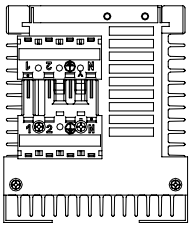
電　　源	AC100V 2 線　(200V は指定して下さい)	**周 波 数**	50･60Hz 自動検知
消費電力	約 2W＋負荷消費電力	**入力信号**	DMX512
外形寸法	W 85 mm×H119 mm×D 138 mm	**重　　量**	約 800g

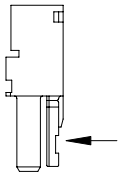
■各部の名称と働き■　—イラストと現品は異なる場合があります—



■適合電線について

＊ＶＶＦ1.6 か 2.0 のケーブルで入力してください。
3.5 ｽｸｴｱなどのケーブルを使用する場合は棒端子を使用して下さい。



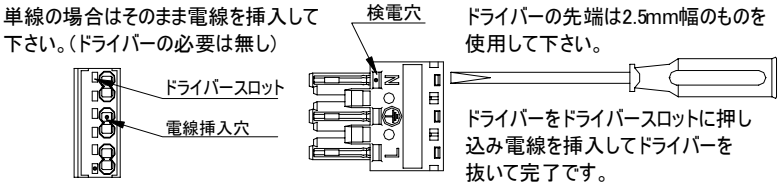


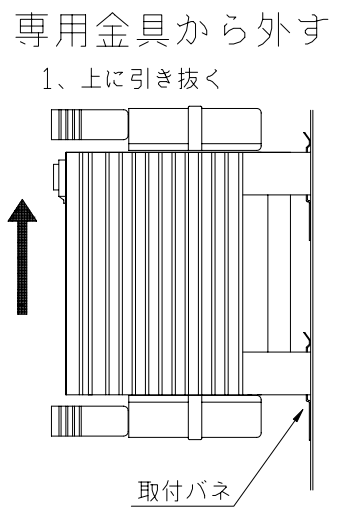
■信号の接続

＊信号線はＬＡＮケーブルのカテゴリー５以上のものを使用して下さい。
信号線の長さは最長 50M です。

■ユニットの取り替え

＊電源又は負荷線を外す際にはストッパーを押しながらコネクターを上に引き抜いて下さい。
＊盤に取付たユニットを外す際にはユニットの出力（下）側を手前に引いてから上に上げて下さい。





①信号入力コネクター
信号 DMX512 入力用のコネクターです。 1つは送り用です。

②通信モニター
通信線が接続され信号を受けると、約 0.2 秒間隔で点滅します。

③負荷出力モニター
各出力回路が出力状態になると、点灯します。 直点時も点灯します。

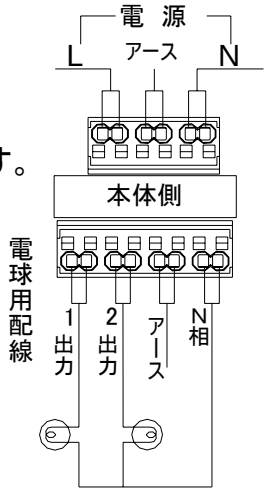
④直点･調光スイッチ
調光側にセットと外部動作信号により調光出力（負荷が点灯）されます。
直点側にすると外部動作信号に関係なく、負荷は常時点灯状態になります。

⑤アドレス設定スイッチ
ＤＭＸのチャンネルを設定するスイッチです。　チャンネルの設定　参照

⑥明るさ調整ボリューム
DMX512信号のない場合、このボリュームにて負荷の点灯が出来ます。

⑦出力モニター
信号入力が 50%で点灯します。

各コネクターは送り用に
同等の2極が付いています。

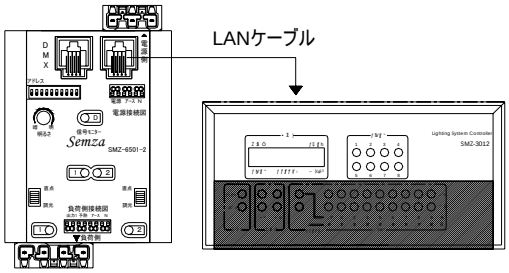


■電源の接続

＊N に接地側を接続して下さい。
＊R.T にホット側を接続して下さい（100V）
＊予熱は蛍光灯を使用するときに使ってください。
　白熱灯の場合は使用しません。
＊電源には必ず保護ブレーカーを取付けて下さい。

■負荷線の接続

＊N に出力１と出力２の COM を接続して
　下さい。
＊出力１と出力２で２回路の調光が出来ます。
＊蛍光灯の場合は電源コネクター側に予熱線
　を接続して下さい。



■操作器の接続

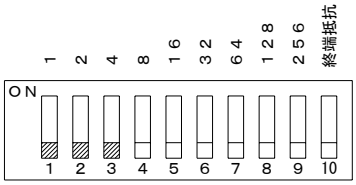
＊当社の操作器には、この調光器より LAN ケーブルで
　電源が供給されます。別の電源は不要です。
＊調光ユニット数が少ない場合は操作器により、動作しない
　場合があります。別途、専用電源をご使用下さい。
＊操作器に 100v 電源の付いている物は 100v を供給して
　下さい。

ユニット設置に際しての注意点

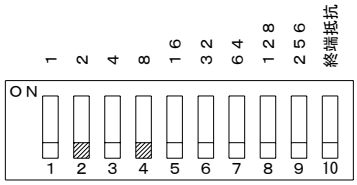
・装置両側の換気口は 50mm 以上離して設置して下さい。 ユニットを 5 台以上設置する場合は強制ファンを設置下さい。
・ユニット間は 15mm 以上離して設置してください。

●チャンネルの設定方法●

各回路のチャンネル番号は個別に設定することが出来ます。



例：７チャンネルに設定
（１＋２＋４＝７）



例：１０チャンネルに設定
（２＋８＝１０）

＊チャンネル番号は、図の上部に表記した数値を足した値に設定されます。
＊負荷1のチャンネル設定で負荷2は連番の扱いとなります。
例）負荷出力1を1チャンネルに設定すると、自動的に負荷出力2は2ﾁｬﾝﾈﾙとなります。
負荷出力1を3チャンネルに設定すると、自動的に負荷出力2は4ﾁｬﾝﾈﾙとなります。

✷注　意✷

チャンネル設定後は、電源投入時のみ有効なので、設定後必ず電源を再投入してください。

■ご使用上の注意■　－装置を安全に末長くご使用して頂くために、次のことに注意下さい。

設置について

- 使用環境条件、周囲温度は 35℃以下　湿度80％以下（結露しないこと）にて使用して下さい。
- ほこりなどが発生しないで通風の良い場所に設置して下さい。
- 調光器は調光時に多少の騒音が出ますが異常ではありません。騒音を嫌う場合は設置する場所を考慮して下さい。

電気工事について

- 負荷を接続する前に必ず点灯、絶縁試験を行なってから接続して下さい。（500V以下の絶縁試験器）
- 不適合な器具を使用しないでください。調光器を破損します。トランスは調光対策用を使用して下さい。
- 電源室からの距離が離れすぎていたり、電力の余裕が無く電源が歪んだ所ではフリッカを起こすことがあります。
- 専門技術者の管理のもとに行ない、過電流遮断器を装置の１次側に設けて下さい。

製品は予告無く仕様を変更することがあります。イラストと現品は異なる場合があります。

〒175-0094 東京都板橋区成増 4-26-5　Tel.03-3938-5440　Fax.03-3939-2102
E-Mail: eigyou1@web-sanko.co.jp　http://www.web-sanko.net
株式会社 サンコーデバイス